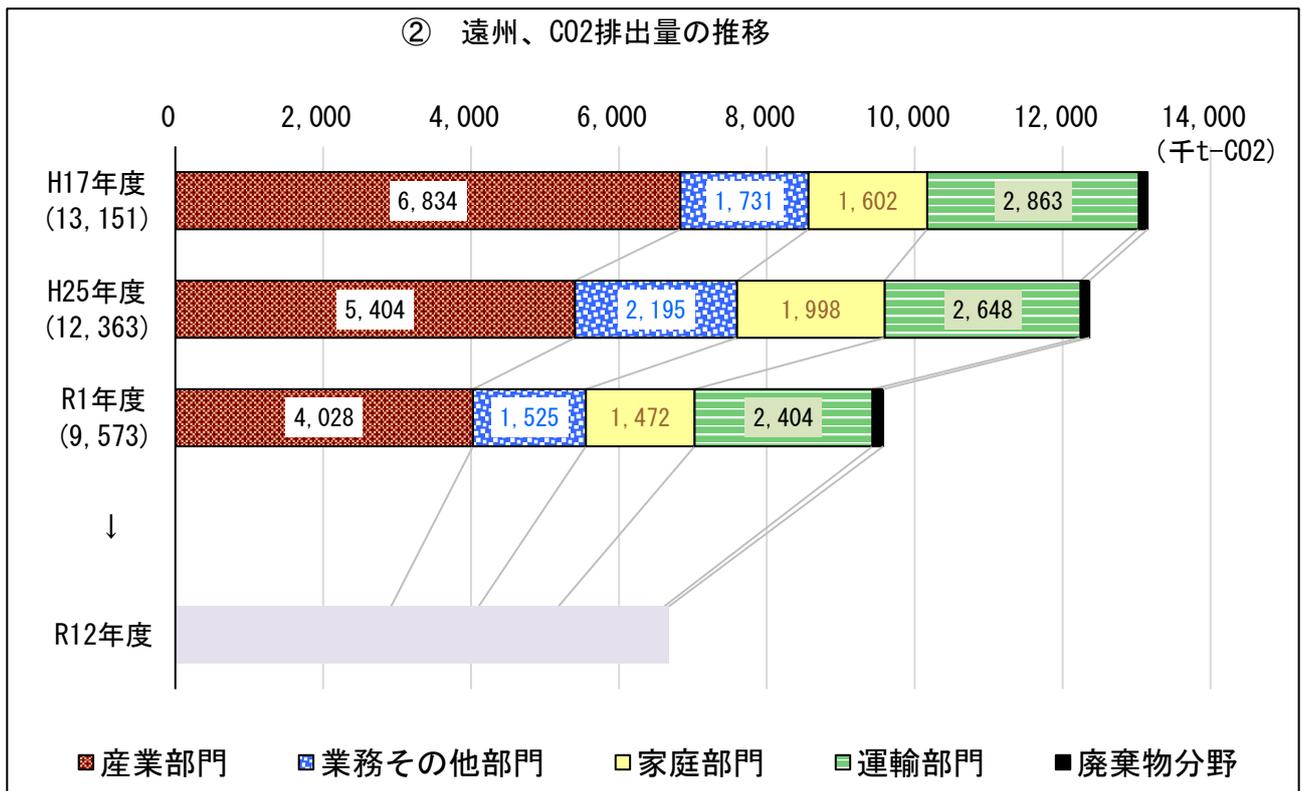
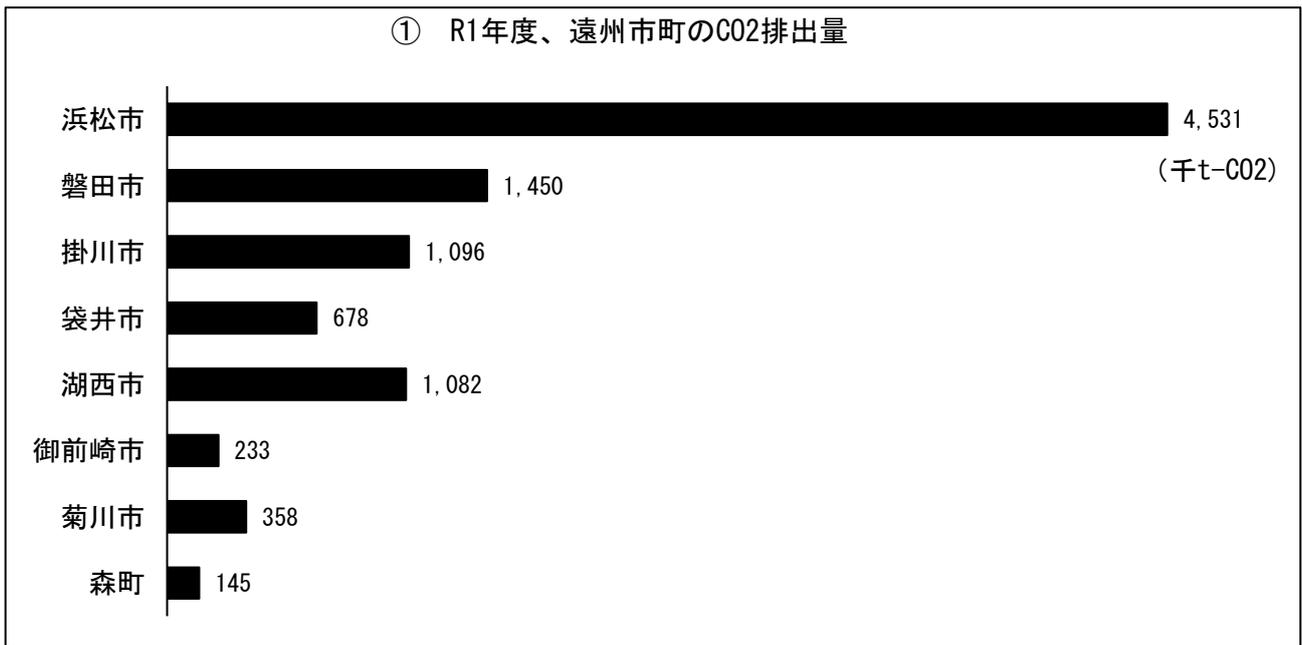
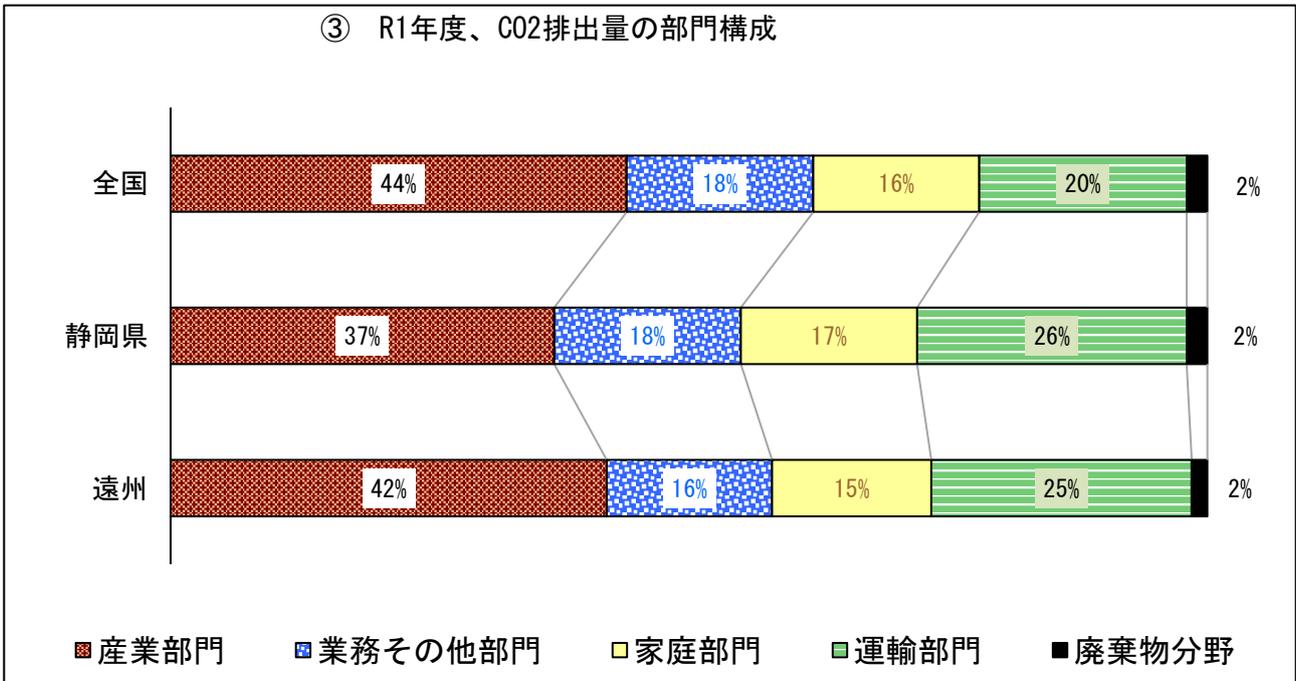


I 遠州地域のCO2排出量の推移

- ①遠州地域の市町別の CO2 排出量をみると、浜松市が 4,531 千 t-CO2 と最も多く、次いで磐田市の 1,450 千 t-CO2 となっています。浜松市が遠州地域の 47%を占めています。
- ②遠州地域の CO2 排出量をみると、R1 年度は 9,573 千 t-CO2 であり、H25年度の 12,363 千 t-CO2 と比べ、22%減となっています。日本が掲げた削減目標が 2013 年比 46%減につき、2030 年までに遠州地域は 6,676 千 t-CO2 とする必要があり、R1 年度比 3 割の削減が求められます。



③ R1年度、CO2排出量の部門構成

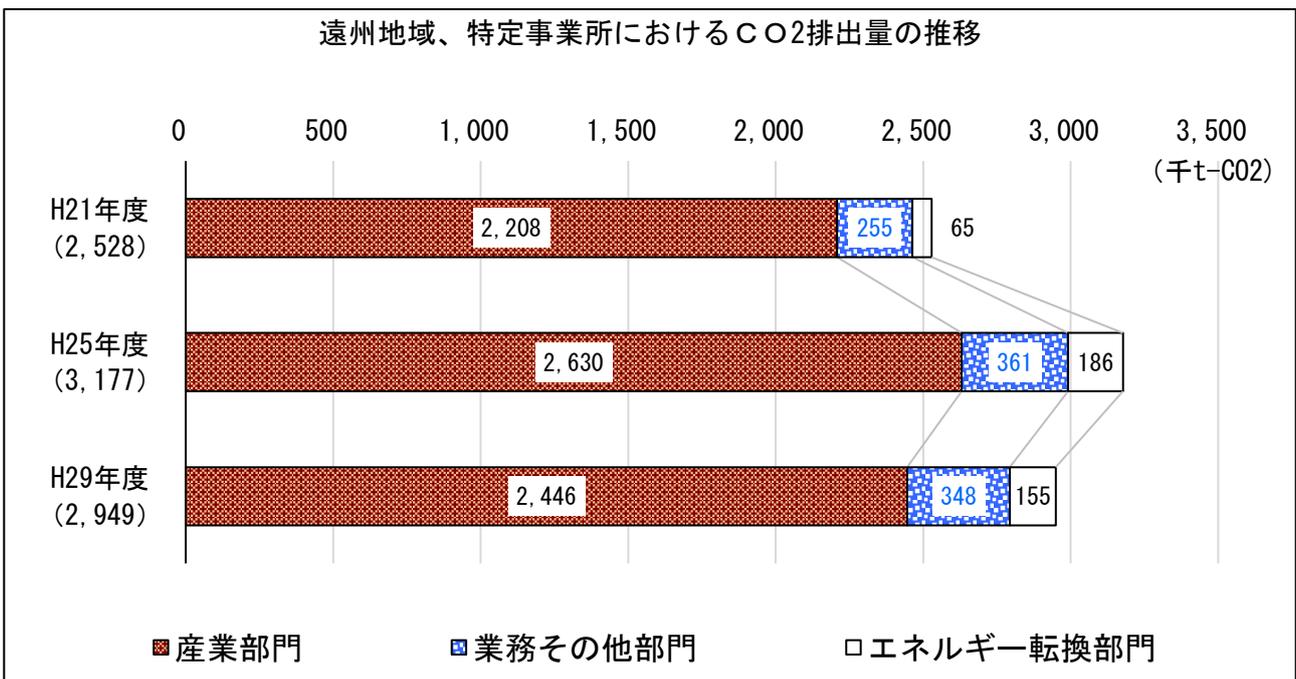


③R1年度のCO2排出量の部門構成をみると、遠州地域では産業部門が42%と最も多くなっています。全国・県との比較では、遠州地域は静岡県よりは産業部門の割合が多いものの、全国よりは産業部門の割合が少なくなっています。遠州地域で次いで多い運輸部門については、全国と比べ構成割合が5ポイント高くなっています。静岡県も全国と比べ高いことから、車による移動が多いと考えられます。

2 特定事業所のCO2排出量

- 遠州地域の特定事業所におけるCO2排出量の推移をみると、H29年度は2,949千t-CO2であり、H25年度比7.2%の減少となっています。H29年度の内訳をみると、産業部門が2,446千t-CO2と最も多く、全体の83%を占めており、産業部門がCO2を多く輩出していることが分かります。

遠州地域、特定事業所におけるCO2排出量の推移



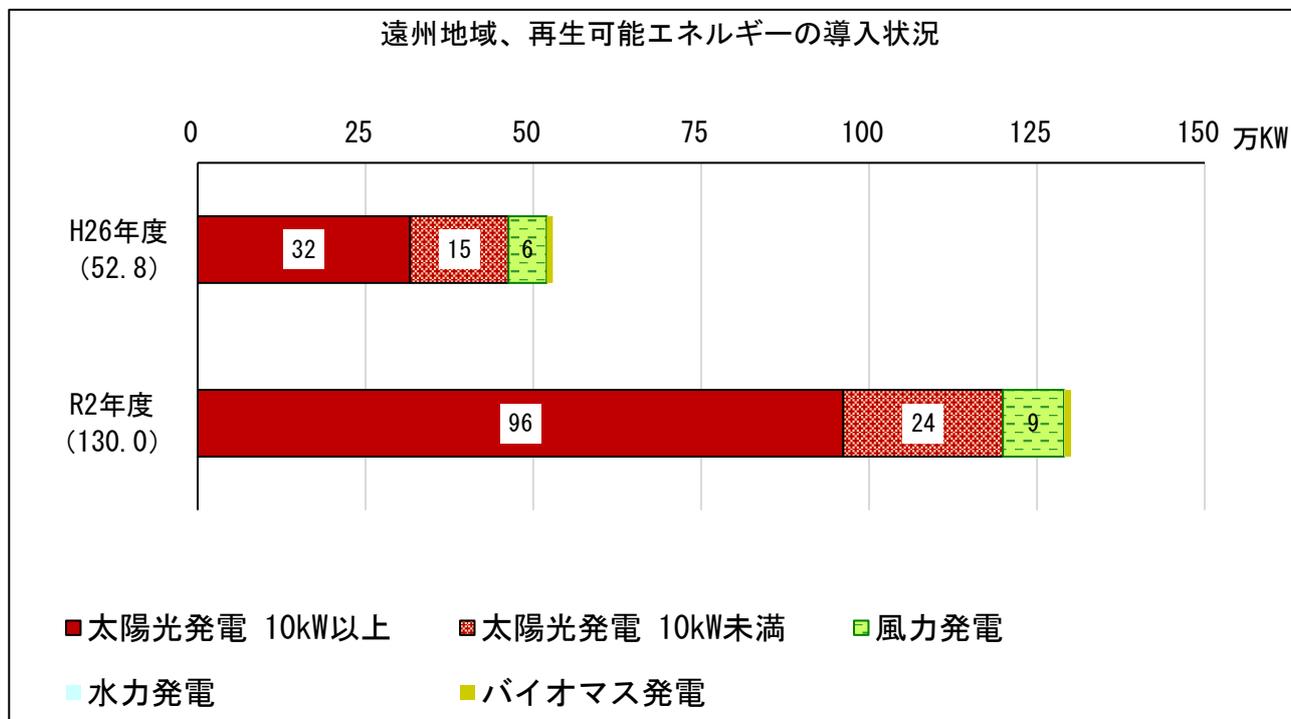
3 特定事業所における産業別の排出量

- 遠州地域の特定事業所における排出量を産業別にみると、遠州の製造業は1社あたり11千t-CO2で全国の50千t-CO2と比べ、かなり少ない排出量となっています。その要因としては、エネルギー多消費業種による排出が少ないためです。遠州地域をけん引する輸送用機械器具製造業は13千t-CO2であり、全国や静岡県を下回っています。遠州地域の業務その他部門についても8千t-CO2と全国を下回っています。

産業分類 (N=遠州)		全国	静岡県	遠州
製造業		50	18	11
エネルギー多消費業種	14: パルプ・紙・紙加工品製造業(N=4)	67	38	11
	16: 化学工業(N=20)	67	22	10
	17: 石油製品・石炭製品製造業(N=2)	7	4	5
	21: 窯業・土石製品製造業(N=3)	122	30	45
	22: 鉄鋼業(N=4)	395	9	12
製造業 エネルギー多消費業種以外	9: 食品製造業(N=10)	10	11	7
	10: 飲料・たばこ・飼料製造業(N=3)	12	14	10
	11: 繊維工業(N=4)	20	25	5
	12: 木材・木製品製造業(N=0)	10	19	
	13: 家具・装備品製造業(N=1)	5	6	7
	15: 印刷・同関連業(N=3)	9	5	4
	18: プラスチック製品製造業(N=23)	10	11	8
	19: ゴム製品製造業(N=5)	17	14	13
	20: なめし革・同製品・毛皮製造業(N=0)	10		
	23: 非鉄金属製造業(N=11)	32	20	12
	24: 金属製品製造業(N=11)	10	7	6
	25: はん用機械器具製造業(N=2)	14	21	41
	26: 生産用機械器具製造業(N=1)	9	8	11
	27: 業務用機械器具製造業(N=2)	12	17	7
	28: 電子部品・回路・デバイス(N=12)	33	14	14
	29: 電気機械器具製造業(N=11)	15	16	14
	30: 情報通信機械器具製造業(N=2)	8	5	5
31: 輸送用機械器具製造業(N=73)	18	14	13	
32: その他の製造業(N=6)	10	10	7	
業務その他部門		10	8	8
業務その他部門	F: 電気・ガス・熱供給・水道業(N=3)	12	5	7
	G: 情報通信業(N=1)	8	8	3
	H: 運輸業, 郵便業(N=1)	8	4	4
	I: 卸売業, 小売業(N=6)	5	5	4
	J: 金融業, 保険業(N=2)	6	8	12
	K: 不動産業, 物品賃貸業(N=3)	6	4	3
	L: 学術研究, 専門・技術サービス業(N=0)	14	12	
	M: 宿泊業, 飲食サービス業(N=7)	6	4	4
	N: 生活関連サービス業, 娯楽業(N=3)	6	4	5
	O: 教育, 学習支援業(N=2)	10	7	10
	P: 医療, 福祉(N=8)	6	6	7
	Q: 複合サービス事業(N=0)	7		
	R: その他のサービス業(N=4)	26	27	32
	S: 公務(N=1)	7	7	15

4 再生可能エネルギーの導入状況

- 遠州地域の再生可能エネルギーの導入状況を見ると、R2年度では130万KWとなっており、H26年度比77.2万KW増加しました。その内訳を見ると、太陽光発電(10KW以上と10KW未満の合算)が120Kwで全体の92%を占めており、H26年度比で2.5倍に増えています。130万KWのうちの残り10KWは9KWが風力発電となっており、水力発電やバイオマス発電は微量となっています。



環境省 自治体排出量カルテをもとに研究所加工作成